令和３年度　学校評価の４点セット

２学期最終稿

九重町 立　野上小 学校

【学校の教育目標】　高め合い認め合い、言葉と心豊かな児童の育成
～のびる　がんばる　みとめあう　笑顔の野上っ子～

育成を目指す資質・能力：　人間関係形成力・対話力

重点目標	評価	達成指標	評価		重点的取組	取組指標	評価	3学期への改善点
【知識及び技能の習得】 語彙力の習得	4	○ 国語単元末テストの「知識・技能」の平均点80点を超える割合を70%以上 2学期　73.1% 達成率　104% ○ （長期目標）12月実施町標準学力調査国語の「言葉の特徴や使い方」の平均値、目標値の95%以上 ＊昨年度93%	4	学校	○ 語彙力や書く力をつける取組（のびるチーム）	○ 週2回ドリルタイムで、語彙力を高めるワークに取り組む。 ○ 家庭学習の内容、指導を統一し、チームで支援する。	4	・児童の実態（課題）から個別のプリントを補充 準備を担任外も含めチームで ・家庭学習も個に応じた指導が必要→個別の補充学習の充実へ
				家庭	○ 全校で漢字家庭学習（PTA研修委員会）	○ 学期に1回、「漢字がカンジンウィーク」に取り組む。	4	・漢字や語彙習得に向けた指導法を確認 ・通信等で取り組みの様子を発信
				地域				
【思考力・判断力・表現力の育成】 考えを出し合い練り合う力の育成	3	○ 国語単元テスト「思考・判断・表現」の平均点85点以上を超える割合を80%以上 2学期　68% 達成率　85% ○ （長期目標）12月実施町標準学力調査国語の「思考・判断・表現」の平均値、目標値の95%以上 ＊昨年度90%	3	学校	○ 考えを深め、伝え合う授業づくり（のびるチーム）	○ 授業者は月に1回以上、思考ツールを使って対話することにより、深め合う授業作りに取り組む。 （質問をすることで理解を深める）	4	・より有効な活用法を練り合い、頻度を上げる。 ・つけたい力を追及するより深い学習活動のツールとして活用を進める。 ・「思考ツールノート」を用いる。 ・ペア、グループ学習を取り入れる。
				家庭	○ 親子読書（家庭読書）（PTA広報委員会）	○ 学期に2回、ノーメディアデイで親子読書に取り組む。（学校からおすすめの本紹介）	4	・図書館活用の工夫（授業や図書委員会の取組）
				地域	○ 読み聞かせ活動の推進（お話広場）	○ 毎週金曜朝、読み聞かせをする。	4	・ボランティアとの情報交換で読書活動への意欲付け
【学びに向かう力・人間性等の涵養】 自他を大切にし、つながり、高め合う児童の育成	4	○ 「学校は楽しい」の児童アンケートで「そう思う」を70%以上にする。 2学期　82% 達成率　117%	4	学校	○ 望ましい人間関係づくりを推進（みとめあいチーム）	○ 6月実施のQUテスト分析を行い、月1回以上の情報交換を行う。 ○ 1週間に1回、人間関係づくりプログラム（スマイルタイム）を実施する。	4	・集団の状況把握と合わせ、個別支援児童への対応を組織的に ・今年度の実施を振り返り、来年度より充実できるよう計画作成
				家庭	○ 子どもの肯定的評価に取り組む(PTA三役)	○ 学期に1回（11月、第2回)「子ほめウィーク」を実施し交流し合う。	4	・学校と家庭が協働的に「子ほめ」に取り組む。
				地域	○ 児童の見守り、情報交換	○ 地域防犯パトロール隊が毎週水曜日、登下校時にあいさつや声かけをし、情報交換し合う。	4	・パトロール隊、交番、公民館との連絡、連携
【働き方改革推進】 伝え合い・支え合い・学び合う組織体	3	○ 「効率的な働き方に努めた」「コミュニケーションをとりながら組織的に業務に取り組めた。」の教職員アンケートで「そう思う」と回答 54%以上 2学期　59% 達成率　109%	4	学校	◯ 会議の持ち方、連絡方法の工夫	○ 校長は毎月の時間外勤務時間職員平均等を職員に見える化し、月1回の衛生委員会で活用する。 ○ 管理職はICTの活用等、改善策を積極的に取り入れ活用を促す。 ○ 学期に1回効率的な働き方についての学習会を全体で行う。	4	【コミュニケーションの充実を図り、共通理解を進める取組】 ・支援会議等、定期的に設定し、必要に応じて話し合えるようにする。
				家庭	○ 会議等時間の短縮	○ 会議や活動時間の短縮を理解し、見直しを考える。	4	・役員会開催時間の繰り上げと時間短縮の工夫
				地域	○ 会議参加の見直し	○ 時間外地域会議参加の削減を理解し、協力する。	4	・管理職対応を進める。